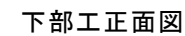
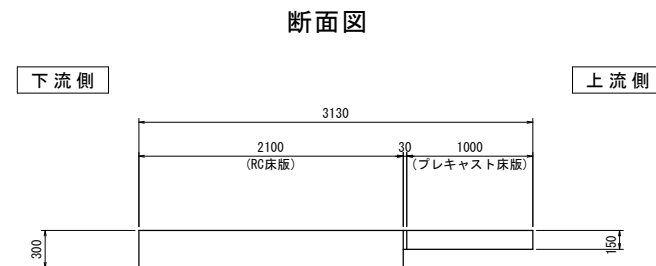
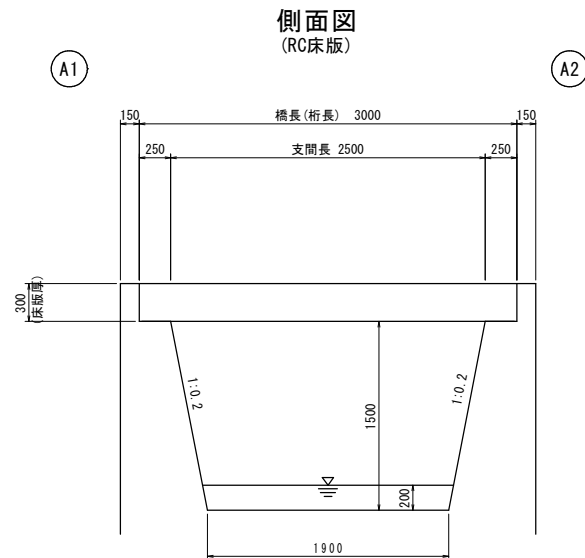
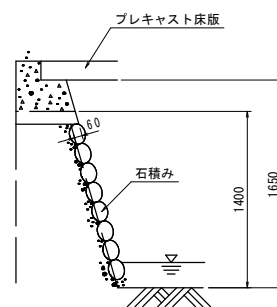
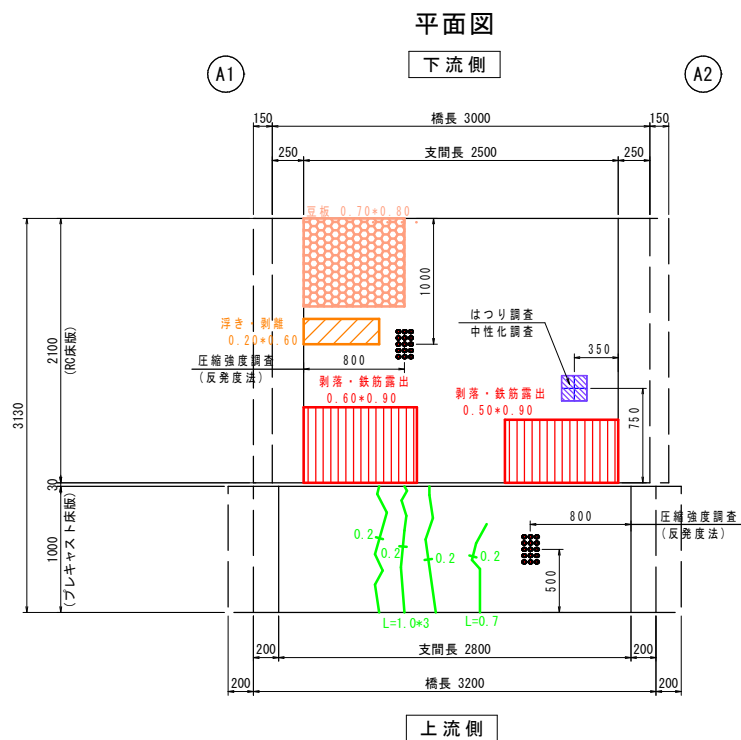


(出口橋) 損傷図 S=1/30

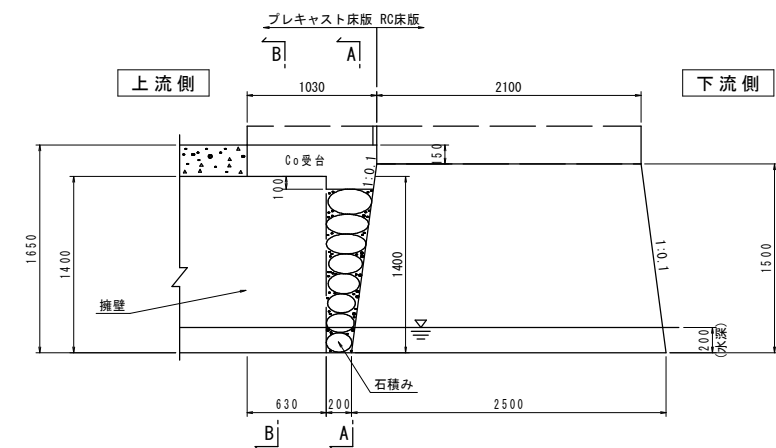
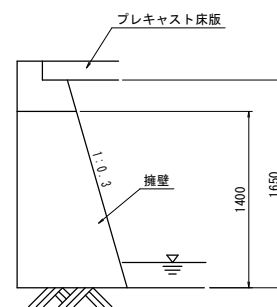


A1橋台

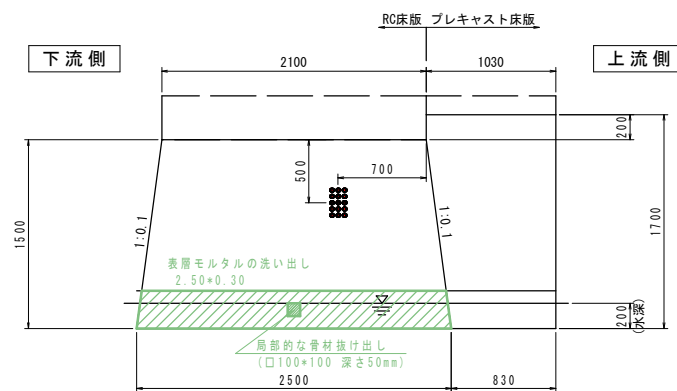
※プレキャスト床版側の下部工は、河川擁壁の上に簡易橋台を設置した形状であり、石積みにてRC床版側の橋台との隙間を埋めてある。



B - B断面图

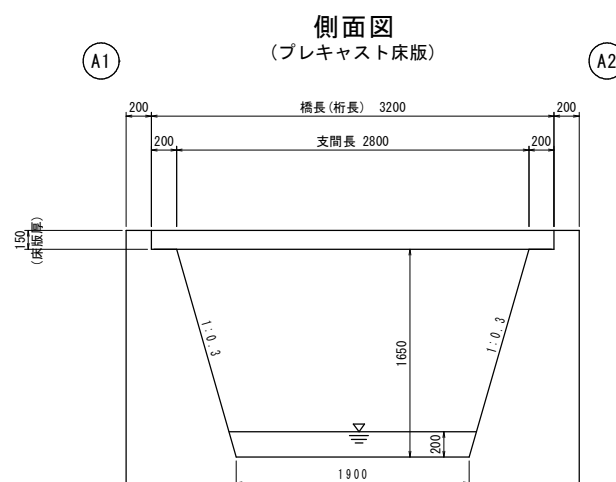


A2橋台



損傷凡例

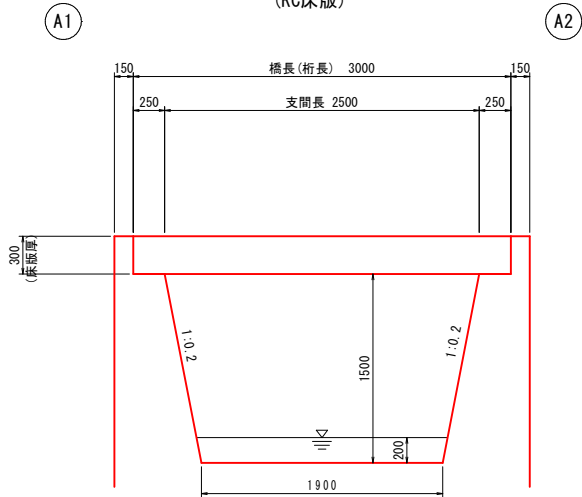
ひびわれ (0.2mm未満) 図中の数値はひびわれ幅 (mm) を示す。		漏水・滲水	
ひびわれ (0.2～1.0mm未満) 図中の数値はひびわれ幅 (mm) を示す。		浮き・剥離 図中の数値は幅×高さ (m) を示す。	 0.40× 20
ひびわれ (1.0～2.0mm未満) 図中の数値はひびわれ幅 (mm) を示す。		剥落・鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ (m) を示す。	 0.40× 20
ひびわれ (2.0～5.0mm未満) 図中の数値はひびわれ幅 (mm) を示す。		変形・欠損 図中の数値は幅×高さ (m) を示す。	 0.40× 20
ひびわれ (5.0mm以上) 図中の数値はひびわれ幅 (mm) を示す。		変色・劣化 図中の数値は幅×高さ (m) を示す。	 0.40× 20
ひびわれ (遊離石灰) 図中の数値はひびわれ幅 (mm) を示す。		腐食 図中の数値は幅×高さ (m) を示す。	 0.40× 20
遊離石灰 図中の数値は幅×長さ (m) を示す。		防食機能の劣化 図中の数値は幅×高さ (m) を示す。	 0.40× 20
錆汁混じり遊離石灰 図中の数値は幅×長さ (m) を示す。		豆板 図中の数値は幅×高さ (m) を示す。	 0.40× 20



工 事 名	橋梁整備設計業務委託(15m未満) 1工区		
図 面 名	(出口橋)橋備図		
作成年月	令和 7 年 2 月		
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 1
会 社 名	株式会社タマルコンサルタント		
事業者名	三次市建設部土木課		

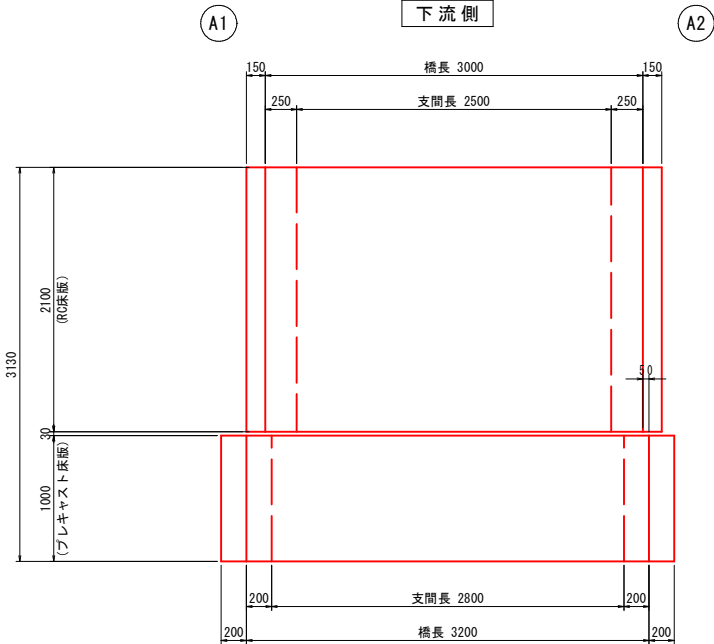
(出口橋)既設橋梁一般図 S=1/30

側面図
(RC床版)



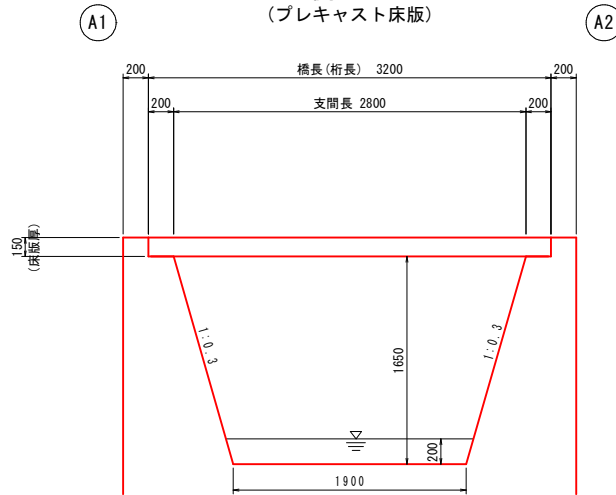
平面図

下流側

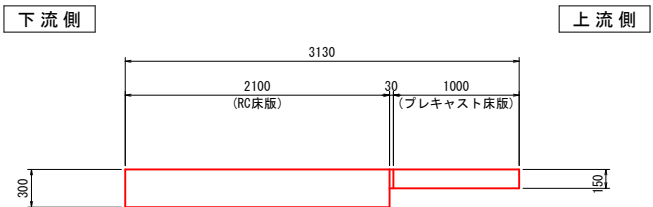


上流側

側面図
(プレキャスト床版)



断面図

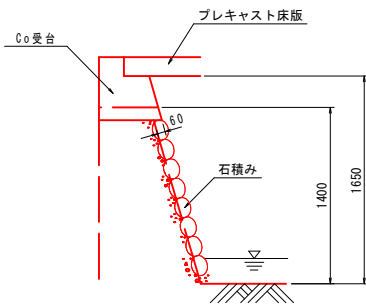


下部工正面図

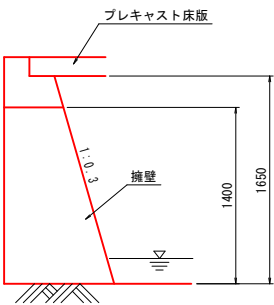
A1橋台

※プレキャスト床版側の下部工は、河川擁壁の上に簡易橋台を設置した形状であり、石積みにてRC床版側の橋台との隙間を埋めてある。

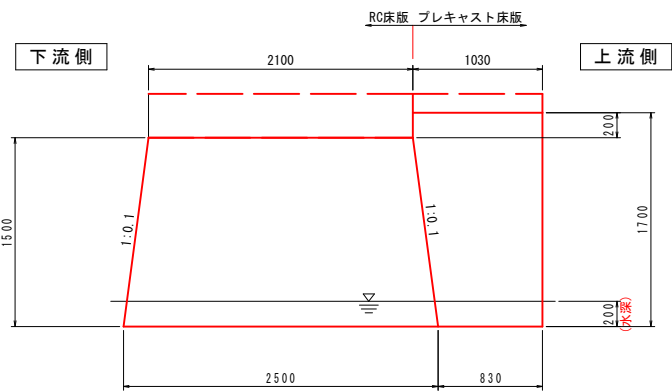
A - A断面図



B - B断面図



A2橋台



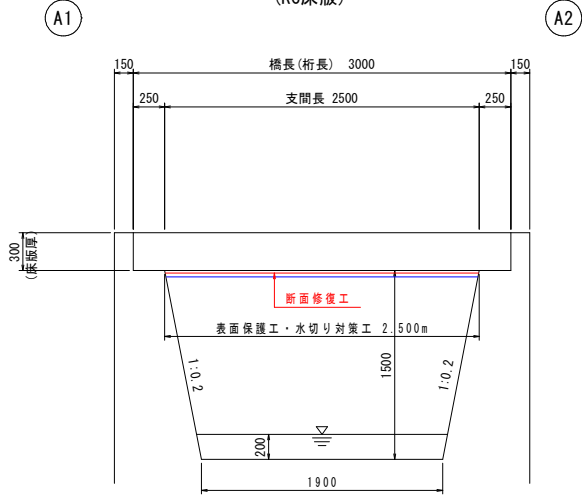
橋 梁 緒 元

構造形式	RC中実床版+プレキャスト床版
径間数	1径間
橋 長	3.200m(プレキャスト床版) 3.000m(RC中実床版)
幅 員	3.130m(2.100<RC>+0.030+1.000<プレC>)
斜 角	90° 00'
平面線形	∞
舗 装	舗装無
添 加 物	-
下部工基礎	不明
適用指針	昭和53年 道路橋示方書コンクリート橋編
架設年次	昭和63年(1988年)

工 事 名	橋梁整備設計業務委託(15m未満) 1工区		
図 面 名	(出口橋)既設橋梁一般図		
作成年月	令和 7年 2月		
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 1
会 社 名	株式会社タマルコンサルタント		
事業者名	三次市建設部土木課		

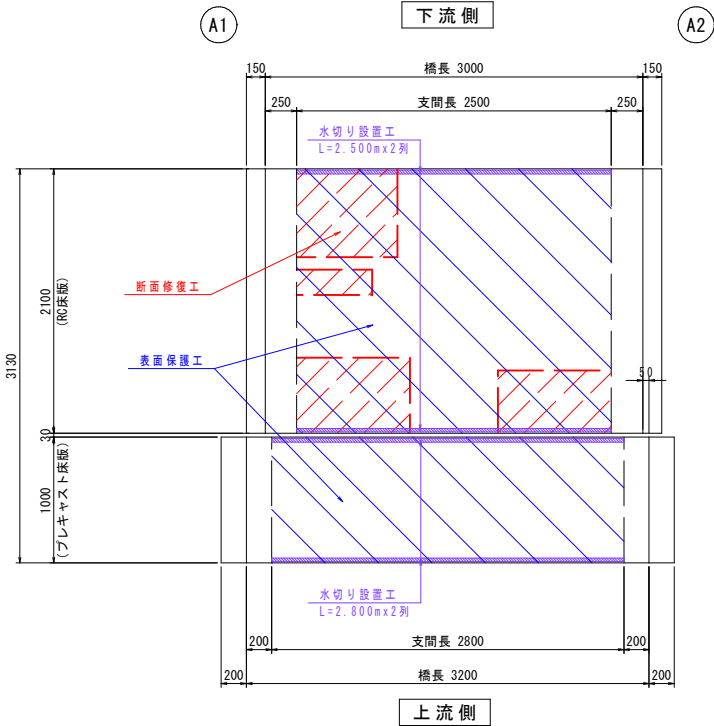
(出口橋)補修一般図 S=1/30

側面図
(RC床版)



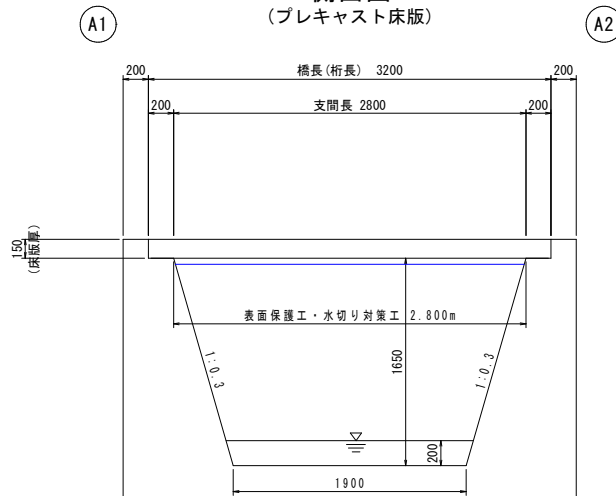
平面図

下流側

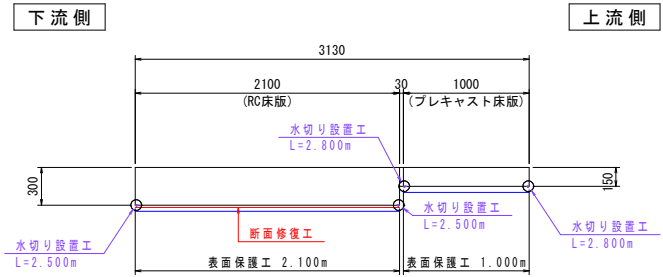


側面図

(プレキャスト床版)



断面図



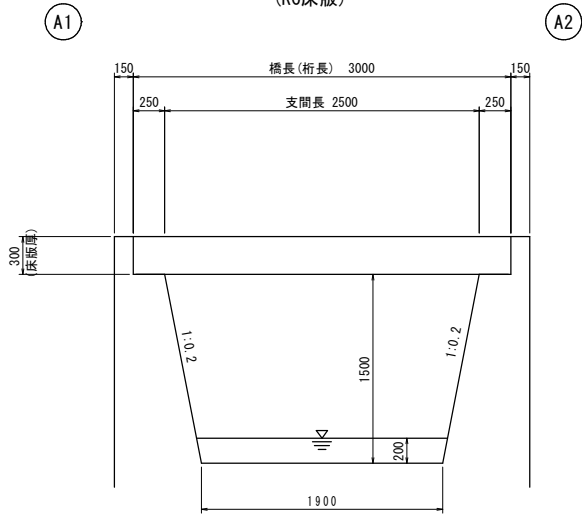
補修項目一覧表

部材工		補修項目	補修部位	損傷(方針)	摘要
上部工	床版	表面保護工	床版下面	鋼材腐食損傷(中性化進行抑制対策)	けい酸塩系表面含浸材(固化型)+亜硝酸リチウム塗布
		断面修復工	床版下面	剥離鋼材露出(腐食抑制対策)	ポリマーセメントモルタル(左官工法)
		水切り対策工	張出し床版	伝い水跡(伝い水抑制対策)	あと施工水切り材(特殊ゴム系材料)

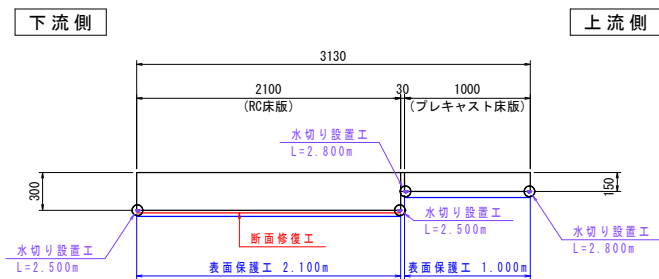
工事名	橋梁整備設計業務委託(15m未満) 1工区		
図面名	(出口橋)補修一般図		
作成年月	令和 7年 2月		
縮尺	図示	図面番号	1 / 1
会社名	株式会社タマルコンサルタント		
事業者名	三次市建設部土木課		

(出口橋)補修図 S=1/30

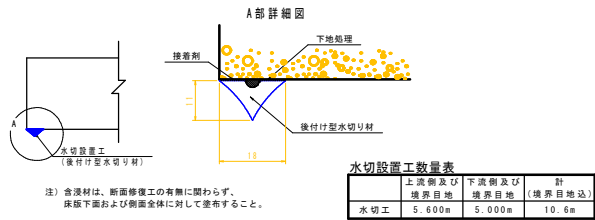
側面図
(RC床版)



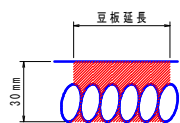
断面図



水切設置工 S=1/10



豆板修復工詳細図
(左官工法)

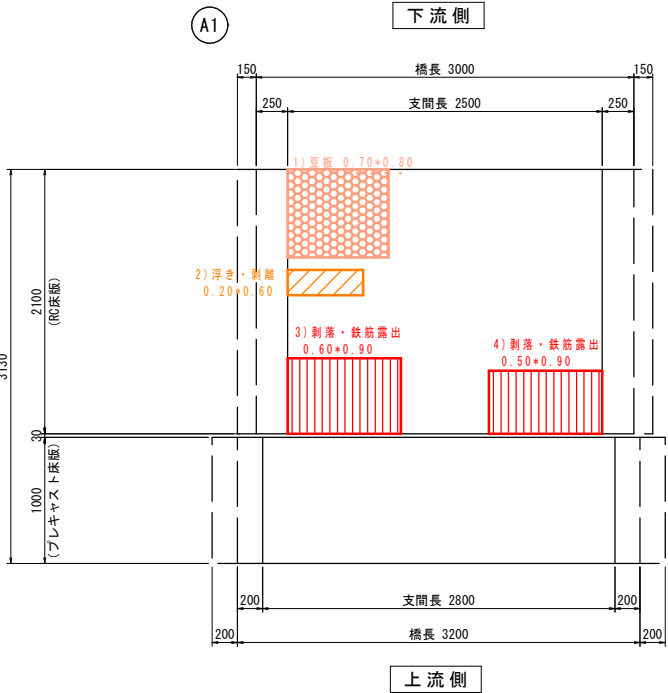


材 料 表

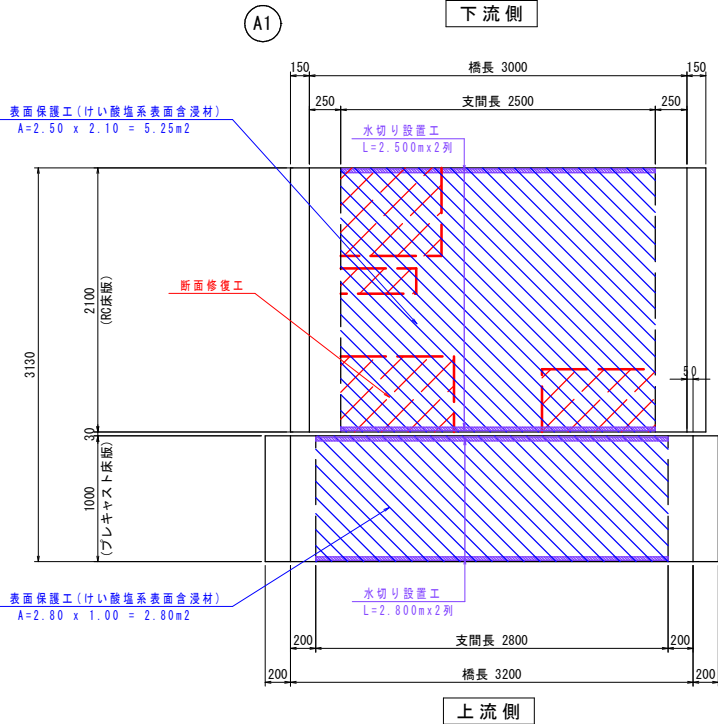
工 種	仕 様
プライマー	新旧打継用エポキシ系接着剤相当
断面修復工	ポリマーセメントモルタル材 (NEXCO 断面修復材品質規格適合)

注) 粗骨材は露出しているが、表層の粗骨材をたたいても剥落しない。(コンクリート診断技術)
→ ポリマーセメント塗布(30mm)

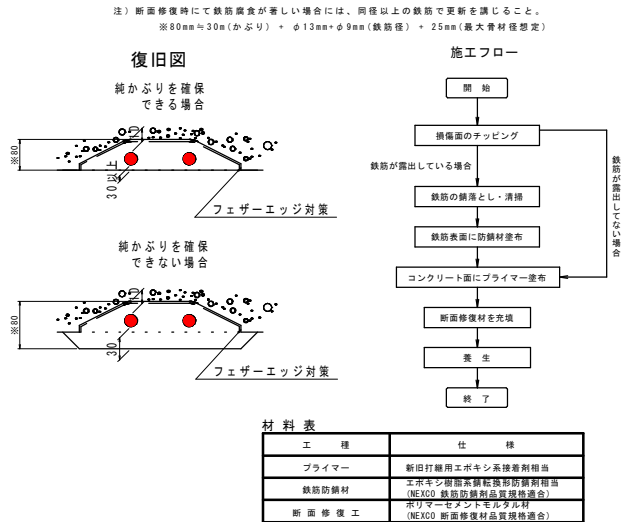
平面図
下流側



平面図
下流側



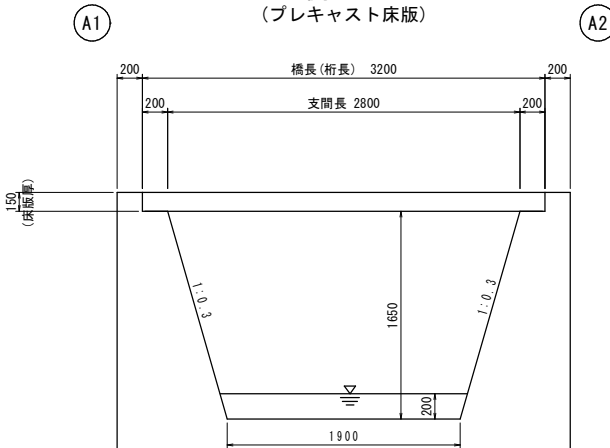
断面修復工詳細図
(左官工法)



材 料 表

工 種	仕 様
プライマー	新旧打継用エポキシ系接着剤相当
鉄筋防錆材	エポキシ樹脂系鉄筋防錆剤相当 (NEXCO 鉄筋防錆材品質規格適合)
断面修復工	ポリマーセメントモルタル材 (NEXCO 断面修復材品質規格適合)

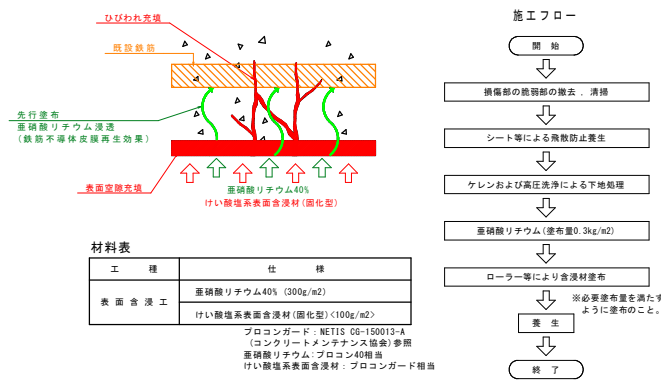
側面図
(プレキャスト床版)



損 傷 凡 例

ひびわれ(0.2mm未満) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	0.1	漏水・滞水	
ひびわれ(0.2~1.0mm未満) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	0.2	浮き・剥離 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	0.40×0.20
ひびわれ(1.0~2.0mm未満) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	1.0	剥落・鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	0.40×0.20
ひびわれ(2.0~5.0mm未満) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	2.0	変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	0.40×0.20
ひびわれ(5.0mm以上) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	5.0	変色・劣化 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	0.40×0.20
ひびわれ(遊離石灰) 図中の数値はひびわれ幅(mm)を示す。	0.60	腐食 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	0.40×0.20
遊離石灰 図中の数値は幅×長さ(m)を示す。	0.30×0.10	防食機能の劣化 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	0.40×0.20
餅汁混じり遊離石灰 図中の数値は幅×長さ(m)を示す。	0.30×0.10	豆 板 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	0.40×0.20

表面含浸工詳細図



- 注記)
- 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
 - 施工時には、天候に十分注意をすること。
 - 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 - はつり後、鉄筋露出がある場合は、ワイヤーブラシ等で錆を落とし防錆材塗布する。又、必要に応じて鉄筋を交換する。その後、鉄筋背面まで隙間なくコンクリートの充填を行うこと。
 - はつり断面はフェザーエッジを形成しない様、注意すること。
 - 防錆材は塗り残しがないよう入念に行うこと。
 - はつり面に凹凸がある場合は既設コンクリート面と修復材との間に空隙が残らない様に適切な処置を行うこと。
 - コンクリートのはつり作業時において補修材及びはつり部等の落下を防ぐよう防護すること。
 - 表面被覆材塗布前にはケレン処理、高圧洗浄などにより、塗布面を十分に清浄し、汚れやエフロレッセンスなどを除去すること。
 - 表面被覆材塗布前には0.6mm程度の凹陥部は事前に補修を施すこと。
 - 表面被覆材は必要塗布量を満たすように塗布すること。
 - その他予期しない損傷および補修対象を施すことが困難な場合は発注者と協議し対策を講じること。

工 事 名	橋梁整備設計業務委託(15m未満) 1工区
図 面 名	(出口橋)補修図
作成年月	令和 7年 2月
縮 尺	図 示 図面番号 1 / 1
会 社 名	株式会社タマルコンサルタント
事業者名	三次市建設部土木課